

看護こうち

No. 154

2022年1月

Kochi Nursing Association Official Newspaper

●発行所：公益社団法人 高知県看護協会 高知市朝倉己825-5 TEL 088-844-0678 FAX 088-844-0053
URL <http://www.kochi-kangokyokai.or.jp> Eメール info@kochi-kangokyokai.or.jp

●発行責任者：藤原房子

会員数 6,270名

保健師	116名
助産師	146名
看護師	5,714名
准看護師	294名

(2022年1月1日現在)



会員のみのひろば の原稿大募集！
あなたの趣味をご紹介ください！

「看護こうち」を更に、親しまれる機関紙するために、会員の皆さんから広く、募集したいと思います。ペンネームや匿名でも可能です。
旅行、釣り、登山などのアウトドアスポーツや、ガーデニング、ダンス、手芸等、何でもOKです。

応募締め切り：令和4年3月31日（木）

お申込みはQRコードより⇒



公益社団法人高知県看護協会

新年のご挨拶



公益社団法人高知県看護協会
会長 藤原 房子

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、日ごろは当協会事業の推進にご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染は、第6波への備え、新たな変異株への対応、ワクチンの3回目接種などまだまだ先が見通せない状況です。対応にあたっておられる医療・介護・福祉施設、行政等の看護職の皆様に心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

昨年の当協会の研修事業は、ほとんどの研修を中止することなく、多くをハイブリッドで開催してきました。研修方法の変更や感染対策にご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、わが国では2040年に向け、人口構造が変化し、超高齢少子社会に突入していきます。高齢者の単独または夫婦のみの世帯の増加が見込まれています。一方、少子化に伴い、看護の担い手不足も課題となっています。看護の場も病院から地域へとさらに拡大し、特に在宅看護、介護領域で看護職の不足が深刻です。看護の担い手を確保するために、若者に看護職を選択してもらえる取り組みや看護職資格を持った人が、働き続けられるための環境整備が不可欠です。

このような背景の中、当協会では、これからも急性期から慢性期、在宅、小児、高齢者などさまざまな場で活躍する看護人材の育成に向けた研修事業を行います。また、頻発する自然災害や南海トラフ巨大地震など、大規模災害に備えて、引き続き地区支部と連携して地域災害支援ナースの育成にも取り組んでいきます。

今年の3月末には、元会員の方からの寄附金を活用した会館増改築工事が完了します。2階に新たな研修室ができるとともに、エレベーターの設置、図書室の拡張、トイレの増設、ナースセンター面談室の新設など、来館される皆様の利便性が向上するものと期待しています。また、令和4年度から同じく寄附金を活用した給付型奨学金事業が始まります。准看護師及び専門看護師の就学支援をとおして高知県の看護の質の向上をめざしていきます。多くの方にこの制度を活用していただきたいと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染症の収束と会員の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

令和4年度 高知県看護協会奨学金の応募について

募集要項・願書など、当協会ホームページで公開しています。

応募資格、応募方法等の詳細は、募集要項をご覧ください。
応募受付期間：令和4年2月1日（火）～2月25日（金）必着



令和3年度 高知県功労者表彰受賞 おめでとうございます



細木病院看護部長の豊田邦江様が、令和3年度高知県功労者表彰（保健衛生関係）を受賞されました。

高知県で第一号のがん専門看護師として良質ながん看護を実践するとともに、県内外の看護学生や看護職員に対する研修講師を務めるなど、がん看護の質の向上に貢献されました。また、高知県緩和ケア協会副理事長、緩和ケア病棟看護管理者として、緩和ケアの県民への啓発活動や緩和ケア従事者的人材育成に尽力されました。

おめでとうございます。



令和3年度地区支部活動報告

令和3年度の地区支部活動は、オンラインを利用しての取り組み、地区支部間での共催、感染状況が落ち着いている間の取り組みなど、新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら、創意工夫をして取り組んだ、4つの地区支部から報告をいただきました。

高知西地区支部

支部長 池上 妙



今年度は、昨年度に続き新型コロナウイルスが猛威をふるい、地区支部活動が全くできませんでした。西地区支部では、毎年11月に事例検討会を開催しています。11月に入ると新型コロナワクチン接種の効果もあり、新規感染者数も減少し、「やるなら今しかない」と思い、定例会も開けていないままで、準備不足でしたが、事例検討会の開催に踏み切りました。

「コロナだからできない」ではなく、どうすれば安全に開催できるかを模索しました。

例年は、地区支部内の施設を会場として開催していましたが、研修における感染対策が取られている高知県看護協会会館を使用させていただくことができ、参加人数を抑え、集合研修ができるようになりました。

令和3年11月27日に参加者9名で認知症高齢者の事例について、2グループに分かれてグループワークを行いました。事例は、どの病院、施設でも関わる頻度が多いと思われる高齢夫婦世帯で、認知症の進行とともに在宅生活が困難となり、本人だけでなく家族への看護・介護の介入が必要なケースでした。

参加者は看護師のみで、比較的経験値の高い構成で、開始早々から活発な意見交換ができていました。「看護職としてどのように介入することで、在宅生活が継続できるか」ということを視点にグループワークを進め、発表を行いました。

検討会後、参加者より「コロナで全く研修会に行けてなかったので、研修が久しぶりで、すごく新鮮に感じた」「ケースを通して他施設の人と意見交換できてよかったです。」と感想をいただきました。

今回参加者が、看護師のみの構成となったため、次回は他職種で経験年数もランダムな構成でさらに活気ある事例検討会にできればと思いました。次へつながる気づきをいただき、安全に無事開催できることにホッとしました。開催にあたりご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



幡多地区支部

支部長 前田 順子

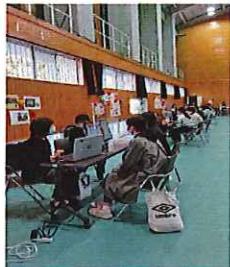


7月3日、「地域災害支援ナース育成研修（継続受講者編）」「災害時受援ガイドライン研修」を開催致しました。講師に高知県立大学竹崎久美子教授を幡多けんみん病院にお招きして、幡多けんみん病院、四万十市民病院、渭南病院をオンラインでつなぎ、地域災害支援ナース育成研修（継続受講者編）に合計21名、災害時受援ガイドライン研修に合計23名の参加者がありました。

10月30日、今回で4回目の開催となる「看護フェア in HATA」を開催致しました。今回は看護学生71名の参加者がありました。幡多地区で看護する仲間を少しでも増やしたいとの思いから開催している本フェアで、幡多地域の病院、保健師、助産師の紹介を行いました。その結果、参加者から「幡多地域の様々な病院を深く知ることができた。」「幡多での就職を考え直してみたい。」など非常に高評価を頂きました。なかでも、将来幡多地区で就職してみたいと思った学生は72%という回答を得たこと、また、今後も開催してほしいとの要望は97%だったことから、次年度以降も継続した取り組みを行いたいと思います。



地域災害研修



看護フェア

吾川・佐川地区支部

支部長 和田 匡史



新型コロナウィルスが世界を震撼させた2019年末から2年程になりますが、いまだ変異株ウィルスも出現し終息の気配は見えません。外出自粛や、マスク着用、ソーシャルディスタンスの徹底等により私たち医療現場以外でも日常生活に大きく変化を及ぼしています。私たち地区支部での活動も状況に適合した活動が要求され、更に変化していくことも考えられます。

2020年4月、幸か不幸か私が吾川・佐川地区支部長に就きましたのもこの年で、2020年度企画していた事業計画も軒並み中止となりました。しかし、当地区支部では地区支部連絡委員さんの尽力もあり、支部連絡会は高知県の感染状況を鑑みながらの不定期開催ではありましたが、支部連絡委員さんの負担とならないよう無理のない参加確認を事前にを行い、地区支部理事とも開催の可否を慎重に検討し、開催の場合は三密防止・手指消毒等の基本的な感染対策に留意しながら、極短時間での開催と致しました。その中で連絡委員さんの元気な顔が見れたり声を聞かせて頂くことで私自身すごく励みとなったことを思い出します。2021年も同じく、新型コロナウィルス終息の気配はなく2020年と同じく、地区支部活動は不定期の連絡会開催のみでありましたが、看護協会本部より、「地域災害支援ナース育成研修 初回受講編」を土佐山田・本山・南国地区支部との共同でオンライン研修という提案を頂き、11月3日に開催する事ができました。31名の参加を頂き学びの多い研修であったと思います。講師の先生方は従来とは違う突然のオンライン研修への変更で講演内容の変更等ご負担掛けてしまいました。

今後の活動もこういったオンラインでの活動が主になるかもしれません。今まで出来なかったことがどうしたら出来るのかコロナ禍だから出来ることをこれから地区支部会での最大の議案とし、今後も地域の保健・福祉・医療の連携を図ることを目的に意義のある活動が出来ればと思います。今後ともよろしくお願い致します。

室戸・安芸地区支部

支部長 岡林 純賀子



コロナ禍で地区支部としての活動が停滞していましたが、今年度はZOOMを活用したWEB会議や、オンライン研修といった新しい取り組みを行うことが出来ました。中でも、昨年開催できなかった地域災害支援ナース育成研修（継続編）をオンラインで開催できたことは、コロナ禍での地域の災害支援を見直す大きな学びとなりました。

また、東部地域の少ない医療機関で看護連携を広げて行く為に、気軽に相談や、研修案内ができるためのICT（ケアライン）の活用の検討などを行っています。

室戸・安芸地区は芸西から室戸までの広い範囲である為、会議や研修に集合するにも長距離となり一苦労ですが、ZOOMやケアラインを活用することで、遠くても身近に相談できる場所と顔の見える関係性を築き、今後の地区支部活動の活性化に繋げていきたいと思います。

ナースセンターより

高知県ナースセンターは、職場復帰を目指す方を応援しています。

令和3年度 第3回「潜在看護職員等」復職支援研修会開催！

12月9日（木）、10日（金）の2日間にわたり、今年度3回目の潜在看護職員対象の研修会を開催しました。参加者は、復職したいけれど新しい知識と技術の習得や業務に対する不安があるという方が殆どでした。年齢は20歳代から50歳代、経験年数も1年未満から20年以上、離職期間も5年未満から10年以上という様々な背景でした。

研修会では、高知県の最新の医療介護の実情を踏まえて、医療安全、感染管理、創傷管理、救急対応などの基礎知識を臨床の最前線で活躍している認定看護師等の講師の方々から直接ご指導を受けました。また、近年必要とされる新型コロナワクチン接種に係る講義を取り入れ、シミュレーターを用いた注射実技の演習も行いました。受講者からは、「原則を振り返り、忘れていたことを再確認できた」「手技について動画が分かりやすく、実技演習もできてとても良かった」との感想が多く聞かれました。

第4回復職支援研修は、令和4年3月3日（木）、4日（金）を予定しております。



看護職のWLB推進 フォローアップワークショップのご案内

WLBフォローアップワークショップを開催いたします。

令和3年度の取り組み施設の報告があります。

令和3年度にWLBインデックス調査を実施した施設は12施設です。

また、WLBについて講演を企画しております。

各医療機関や施設の皆様の参加をお待ちしております。

★日 時／令和4年2月18日（金）

9:30～16:00

★場 所／高知県看護協会

★内 容／9:30～11:30

テーマ「働きやすい勤務環境」

(集合とZoomによるWeb研修)

講師 立場の異なる4人の

シンポジストによる発表

11:40～16:00

令和3年度WLBインデックス調査実施施設の取り組み報告

令和3年度高知県看護協会 看護研究学会についてお知らせ

令和3年度 高知県看護協会看護研究学会

テーマ 困難を乗り越える看護の力
～レジリエンスを高めよう～



学会プログラム

シンポジウム：新型コロナウイルス感染症への看護師の挑戦
～県外医療機関へ派遣された看護師の活動報告と
県内受け入れ医療機関の取り組み～

口演発表

開催日時：令和4年2月26日（土）9:00～13:30

会 場：高知県看護協会会館

参 加 費：会員3,300円、非会員5,500円（集録代含む）

開催形式：一般参加者はWeb参加となります。

演題締切：令和3年11月30日（火）17時必着

※ 詳細は高知県看護協会ホームページ→教育・研修→看護研究学会参照



問い合わせ 公益社団法人高知県看護協会
TEL (088) 844-0678

施設紹介 地域で活躍する看護職紹介

東 部

訪問看護ステーション ドリームチーム

◆南国市物部131-1

◆所長 尾崎 裕美

ドリームチームは、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の専門職と事務員が日々、自分たちも楽しみながら在宅で生活されている利用者さんのサポートを行っています。

当ステーションの特徴としては、高知県内のステーションでは唯一「看護師特定行為研修」を修了した看護師が在籍をし、研修で学んだことをスタッフと共有し知識を高めています。そして、スタッフ同士がとても仲が良く、事務所内ではいつも笑い声が聞こえています。個々を大事に思い合えるスタッフばかりなのも魅力の1つです。

もう1つの特徴としては、利用者さんが在宅療養の中でも夢を持って生活ができるよう支援し、その夢を叶るためにスタッフで意見を出し合い、セッティングしサポートをさせていただいている。実際には、病気のためにご自身での歩行が不安定で、吸引なども必要になり1人で外出することが難しい利用者さんをリハスタッフとともに医療機器を持参し、療養生活になる前に打ち込まれていた川釣りをしていた川へ遊びに行きました。また、山登りや利用者さんとご家族との思い出づくりの外出なども行なってきました。

私たちは、全ての利用者さんが楽しく夢をもって在宅生活を送ることができるようこれからも全力でサポートしていきたいと思っています。



中 部

高知開成専門学校看護学科

◆高知市本宮町65番地7

◆副校長 佐田 久美子

本校は、1学年40名定員の学校法人の養成校です。教育理念には、地域に根ざし、地域に貢献できる看護師養成を掲げ、卒業生の80%は、地域密着型の中規模病院へ就職し、活躍しています。本年、教育現場と臨床現場の連携・協働の促進、人材交流の推進のための日本看護協会のモデル事業に参加したので報告します。

実施内容は、当校とJA高知病院が連携した人材交流を行い、教員は新人看護師教育や院内ラダー研修、看護研究の支援を、臨床看護師は、学内実習支援、基礎看護学技術演習のアシスタントや教員のサポートを受けながら講義を担当、さらに、学校行事に参加し、学校運営のあり方を学びました。

結果、学生は、臨床のイメージが具体的に想起できたこと、実施した看護を評価してもらえたことから実習を「楽しい」と思える学生が増え、学習へのモチベーションが向上しました。臨床看護師は、一貫して学生をみることで、学生個々の背景や個性を知ることができ、能力に合わせた指導ができるようになりました。また、授業参観することで、日頃行っている看護の根拠について考えるようになり、病棟全体が、教育的な関わりに変化してきたと感じています。教員は、臨床の医療体制の変化や新しい医療機器の知識を得る機会となったことや基礎教育に「考える力」、「書く力」の強化が求められていることを理解できました。

今後、臨床看護師が一定期間基礎教育に関わる出向制度が可能となれば、教員と共に教育目標を共通認識した教育的指導が可能となり、より質の高い看護師を養成することができると言えます。



西 部

クリニック土佐久礼

◆高岡郡中土佐町久礼6728-1

◆医療安全管理者 高松 絵里奈

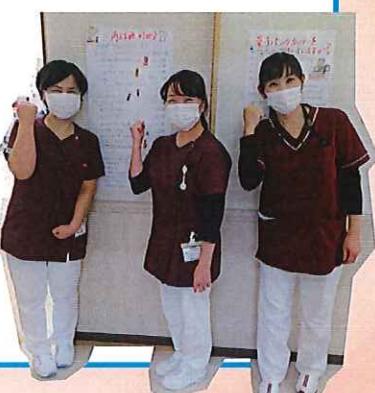
私達は高岡郡中土佐町クリニック土佐久礼で勤務する看護師です。

まず、当院の特徴として、一般的な検査に加え上部・下部内視鏡検査ができる設備を整えており、地域のかかりつけ医として、必要な医療へスムーズに繋げる役割を果たしています。

当院に通院される患者様は、高血圧や糖尿病といった慢性疾患の方が多いため、糖尿病に関する手作りパンフレットや院内掲示物の作成、生活指導といった疾病コントロールへの働きかけを行っております。直近の取り組みとして、中土佐町役場健康福祉課に所属する管理栄養士のご協力もあり、更に具体的な食事指導を受けて頂けるシステムを構築中です。

また、高齢化が進んだ地域でもあるため、来院時のみならず日常生活における患者様の変化を地域包括担当者と情報共有し、必要なサポートへ繋げる働きかけを行っております。

慢性疾患を抱えながらも患者様が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、暮らしを支える一員として看護の力が発揮できればと考えております。



選挙管理委員会からのお知らせ

令和4年度公益社団法人高知県看護協会役員・推薦委員並びに令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙について、次のとおりお知らせします。

●令和4年度高知県看護協会通常総会で選挙される役員等及び定数

◇役 員

第1副会長1名、専務理事1名、常任理事1名、助産師職能理事1名、
看護師職能理事1名、東部2地区理事1名、中央2地区理事1名、
西部2地区理事1名、准看護師理事1名、監事1名

◇推薦委員

保健師2名、助産師2名、看護師5名

◇公益社団法人日本看護協会 令和5年度代議員及び予備代議員

代議員 6名、予備代議員 6名

最終の代議員数については、令和4年1月末に日本看護協会から通知があり、
変更されることがあります。

●選挙期日及び場所

◇選挙期日 令和4年6月18日（土）（令和4年度通常総会の日）

◇場 所 高知県看護協会2階研修室

●立候補の届出期限

令和4年3月18日

届 出 先 (公社) 高知県看護協会選挙管理委員会

〒780-8066 高知市朝倉己825-5

届出に必要な書類 立候補届出書及び立候補者推薦届（必要な方は、下記ホームページからダウンロードするか、問合せ先までご連絡ください。）

問合せ先

(公社) 高知県看護協会選挙管理委員会

〒780-8066 高知市朝倉己825-5

ホームページアドレス：<http://www.kochi-kangokyokai.or.jp/>

TEL：088-844-0678

FAX：088-844-0053

おうち時間 和モダンの庭作りを楽しむ

JA高知病院 看護師 西田 和真



私は色々なことに興味がありますがその中で、この度はコロナ禍ということで自宅での過ごし方の紹介をさせて頂きます。自宅では音楽（ピアノ、ギター）金魚（らんちゅう、土佐金魚）の飼育、家庭菜園、庭作り、稻刈りが終われば家の隣の田んぼにコスモスを蒔き、花が咲くと田んぼの真ん中で友人達と食事をしながらコスモス観賞をしています。また、近所の保育園児も見に来てくれ、子供達が元気に走り回って遊べるようコスモス畑を迷路のように工夫しています。何より子供達の喜ぶ姿を見たいがために毎年咲かせております。

庭作りですが、私のような年代で庭に興味がある人は少ないと思いますが、昨年五葉松を購入し

自作で庭石を使って大きな鉢を作り、松を植えました。その他にも紅葉、高野楨（皇族悠仁様のお印の木）などを植え手入れを楽しんでおります。

今後も和モダン風の庭園をコツコツ作って行きたいと思っております。



令和3年度 第5回理事会議題

日 時：令和3年11月13日（土）9：30～

I 審議事項

1. 奨学金募集要項について
2. 奨学金審査委員会委員の嘱託について
3. 上半期事業報告及び決算（案）について
4. 上半期監査について
5. 令和4年度重点事業（案）について
6. 令和4年度改選役員及び定数について
7. 令和4年度理事会等行事日程（案）について
8. 令和4年度日本看護協会長表彰推薦（案）・名譽会員推薦について
9. 令和4年度日本看護協会推薦委員の推薦について（案）

10. 第2回地区支部長会議題（案）について

II 報告事項

1. 高知県功労者表彰について
2. 令和3年度地区別法人会員会について
3. 業務執行理事の職務報告（定款第26条第4項）
 - 1) 会長
 - 2) 副会長
 - 3) 専務理事
 - 4) 常任理事
 - 5) 3職能理事

III その他



会員専用ページ
キャリナース

ご登録者が
増えております！

キャリナース ならパソコン、スマホすべて解決できます！

会員番号の確認

会員情報の変更

受講証明書の発行

会員番号が必要な時、すぐにご確認できます。
電子会員証も表示でき、カードレス！

氏名、住所、会費お支払い方法、登録口座などの即時変更や会員証の再発行もOK！

対象研修の受講証明書が発行でき、受講履歴も蓄積されるのでキャリアアップに役立ちます。

ご登録はこちらから！



お手元に免許番号とメールアドレスをご準備いただくとスムーズです。

管理者の方はぜひ

ナースシップ
施設用WEB

就役代表者
専用ページ

もご利用ください。

所属会員様の一覧や納入状況が確認できます。

当協会ホームページ▶トップページのバナーからログインできます。
ご不明な点がございましたら、会員担当までお気軽にお問い合わせください。



皆さん、あけましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年11月末に感染例が報告され、WHOから「懸念すべき変異株」に指定されたオミクロン株。日本を含め世界中で警戒が高まっています。まだまだ油断できない状況の中で、新しい年を迎えることになりました。今年も、昨年に引き続いて、対策に追われる一年になろうかと思いますが、皆さんには、ご自分自身と周囲の大切な方々を守りながら、健やかな日々を過ごしていただきたく思います。先行きが見えない日々ですが、こんな時であるからこそ、正しい情報を的確にとらえることが大切だと思います。「看護こうち」は今後も様々な情報を発信してまいります。今年もどうぞよろしくお願い致します。

（広報出版委員 橋田幸大）